

梅雨入りし、じめじめとする気候が多くなりました。学園祭も間近となり準備で慌ただしいと思いますが、笑顔で当日を迎えられるよう体調には気を付けてください。皆さんの作り上げる学園祭を楽しみにしています。

今回は高校3年生のおすすめ本を掲載しています。読む本を選ぶ時にぜひ、役立ててください。

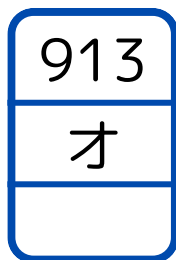


本のラベルの謎

図書館の本にはラベルが貼ってあります。数字やカタカナが書いてあることを疑問に思ったことはありませんか？



なぜ？

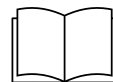


だれでもたくさんの本の中から、すばやく必要な本を探せるようにするためです。ラベルは本の住所の役割をしています。

図書館には本がたくさんあります。(英和の図書室には2万冊、県立図書館には69万冊本があります)バラバラに並べられているたくさんの本の中から、1冊1冊確認をしてお目当ての本を探し出すのはとても時間がかかります。そのため必要な本をすばやく探し出すことができるように本を内容ごとに分けてラベルを貼り、並べています。ラベルは本の住所と考えてください。そのため、迷子の本を出さないためにも、返す場所が分からない本は必ずカウンターかブックトラックへ置いてください。



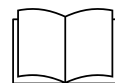
新着図書



『6月の本』(12か月の本) 西崎憲 / 編 国書刊行会

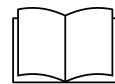
そうてい

装丁(本の表紙などのデザインのこと)の美しさをぜひ味わってほしい1冊です。内容はその月にまつわる古今東西の小説・詩歌・随筆が集められています。気になるところだけ読んでOKです。四季を味わいを感じられる本です。現在4月から6月まであります。



『ヨイヨワネ』 あおむけ編・うつぶせ編

ヨシタケシンスケ / 著 筑摩書房



『二人一組になってください』

木爾チレン / 著 双葉社

電子図書館のおすすめ本



『虫ぎらいはなおるかな? -昆虫の達人に教えを乞う-』

金井 真紀 / 文と絵 理論社

虫嫌いの著者が、7人の達人に話を聴きに行きます。虫を研究する人、虫をモチーフに作品をつくる人、「こわい」の専門家、等々。虫が苦手な人はもちろん、そうでない人にもぜひおすすめしたい1冊です。



生き物の本特集はこちらから

銀河鉄道の夜

作：宮沢賢治 出版：新潮文庫



貧しく孤独な少年ジョバンニが、親友カムパネルラと銀河鉄道に乗って美しく哀しい夜空の旅をする、言わずと知れた名作です。

小学生のときに教科書で読んだという人も多いかもしれませんが、成長してから再び読むと、新たな気づきがあったり、昔読んだ時とは違う感情を抱いたりするかもしれません。忙しい日々の合間に銀河でのひとときを楽しんでみるのはいかがでしょうか。

流星の消える日まで

沖田 円



東京で自分の店をオープンさせるという大きな夢を抱き、アパレル業界でがんばってきたあずみ。地元に戻り久々に幼馴染の太一と会ったあずみ。

流星群極大の夜、天体観測をするという友人の誘いで夜の海に向かったあずみと太一。星空の下で、あずみは夢の真実を知る――。

この続きが気になる方いませんか？！ぜひこの本を一回手に取ってみませんか？感動的作品です。

人間椅子

作者：江戸川乱歩 出版：立東舎



ある日人気作家のところに届いた一通の手紙。それは醜い椅子職人の「私」からの、奇妙で身の毛もよだつような告白文でした。手紙よりも前に「私」から送られた椅子には、ある秘密が隠されていたのです。

江戸川乱歩の『人間椅子』は、読む人の心をじわじわと侵食し、背筋をじんわりと冷やす、静かな恐怖が魅力の短編小説です。

暑くなってきたこの頃、涼しなるようなお話はいかがでしょうか？

高校3年生
図書委員
おすすめ本
テーマ
「諸行無常」



二木先生

夏木志明

「先生は自分のやってることのとてもなさを自覚するべきだ。言ってみてくださいよ。」

『~~二木先生~~』って

いわゆる「イタイ」男性高校生である田井中が、ある日、美術教師・二木先生の秘密を知ってしまうことから物語が始まります。今回のテーマ「諸行無常」とは少しかけ離れた内容だと思えますが、話の中で二木先生が例えを説明する際にいわゆる流転の説明をするのでこの作品を選びました。この流転の説明と黒塗りをこの目で確かめて下さい。

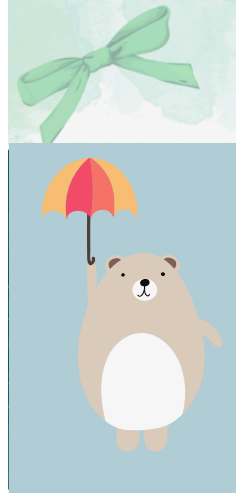
あした死ぬかもよ？ 著作：ひすいこたろう 出版：ディスカヴァー・トゥエンティワン



あなたが、もし明日死ぬとしたら、後悔はありませんか？
もし後悔があるのなら、後悔がない人生にするように、
今この瞬間を全力で生きていますか？
人は、なぜか皆「自分だけは死なない」と思っている。
でも、残念ながら、皆いつか必ず死ぬ。
それを受け止めることこそ、
「生」を輝かせることにつながるのではないかと
自分が「いつか死ぬ身である」ということを
しっかり心に刻み込めば、自分の本当の気持ちに気がつき、
もっと自分らしく、人生を輝かせることができるのです。
本書では、著者からの27の質問に答えていく形式で、
死ぬ時に後悔しない自分の生き方について
考える機会があります。
いつも当たり前のように送っている日常のありがたみ、
過去でも未来でもなく、今を生きる大切さ――。
自分の人生や生き方について考えさせられる1冊です。

風と共に去りぬ

ミッチェル 大久保康雄 竹内道之助 訳



今ある生活のありがたさを感じられていますか？ 時代は南北戦争が始まる直前。激しい気性と美貌を持ち合わせたスカーレット・オハラは様々な男性を虜にしてきました。彼女は華やかなパーティーを送り不自由のない生活を送ってきたが、戦争が始まると華やかな生活が全て失われてしまいました。自己中心的な少女から全てを失っても立ち上がる真の強さを兼ね備えた女性に成長していくお話です！ 日常に対する感謝の気持ちをどこかで忘れてしまった方、読んでみてはいかがでしょうか！